

平ボデー解体マニュアル

株式会社 信濃車体製作所

平ボデー解体マニュアル

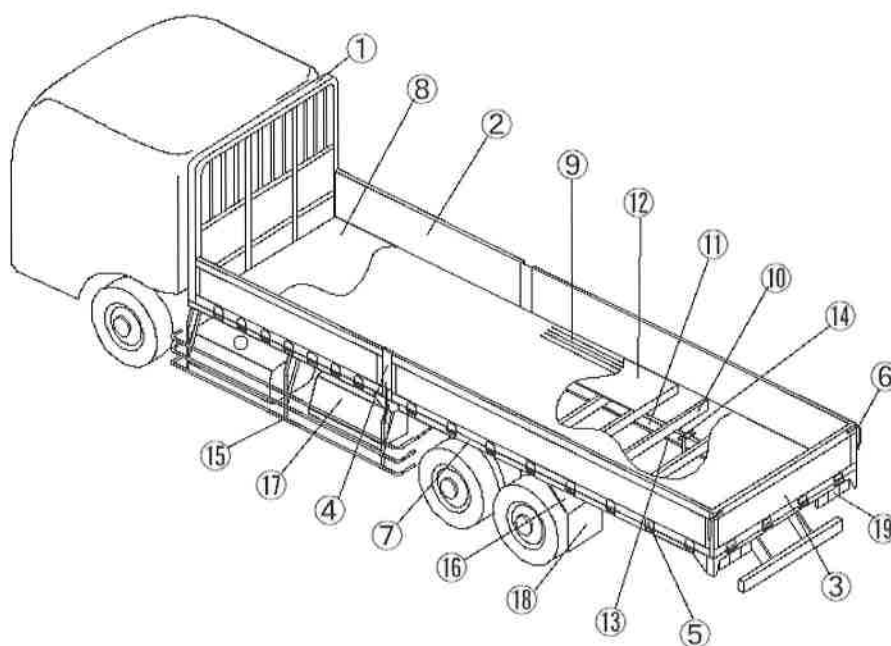
1 はじめに

- ① 本解体マニュアルは、平ボデーの解体に関して、「適正で効率的な作業」を案内し、使用済み架装物処理の各段階で、適正且つ安全に処理するための手順をまとめたものです。
- ② 本解体マニュアルは、解体に関する参考資料としてご提供するもので、実際の解体作業においては、解体事業者様のご判断により作業を進めて下さい。
- ③ 本解体マニュアルに記載の内容は、予告なく改訂することがありますので予めご了承下さい。

2 作業上の注意

- ① 安全な作業を行うに当って、定められた作業服、作業帽、安全靴を着用し、作業内容に応じて保護メガネ、耳栓、防塵マスク等の保護具を着用して下さい。
- ② 高所作業については、安全帯、足場の確保等転落防止措置を講じて行って下さい。
- ③ 燃料系の除去・回収に当っては、消防法を遵守し、引火・爆発が発生しない様な環境及び方法で行って下さい。
- ④ 油脂・液材系の除去・回収に当っては、地下浸透や施設外流出が発生しない様な環境及び方法で行って下さい。
- ⑤ タンク等の解体時は有害物質等の除去・洗浄を完全に行い、安全を確保した上で作業を行って下さい。
- ⑥ 使用済み架装物等に含まれる作動油等の有害物質、及び埋め立てが禁止されている蛍光ランプ等の部品・材料、並びにそれらを含む部品を、破碎処理する前工程で選別し、適正に保管・処分を行って下さい。
- ⑦ FRP・木材の解体後の処理については、シュレッダー業者、又は専門回収会社に委託し、適正に処理を行って下さい。

3 主要構造名

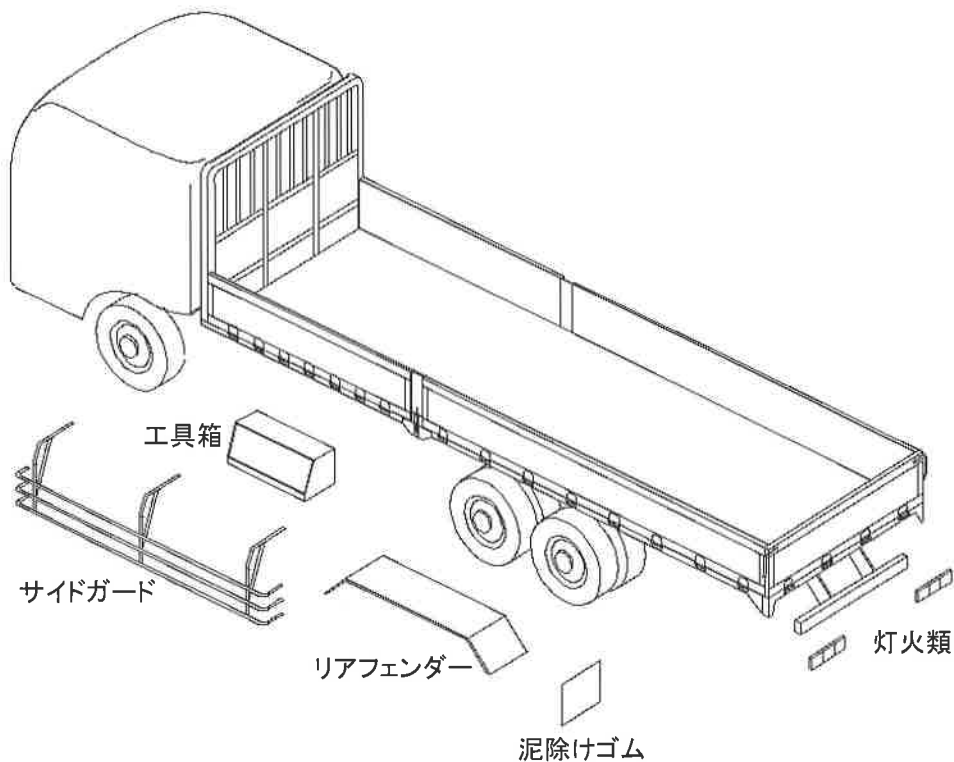


| 番号 | 品名 | 材質 | 備考 |
|----|---------|----------------|------------|
| ① | 鳥居 | SS・SUS・アルミ | 仕様により異なります |
| ② | 側煽り | SS・SUS・木材・アルミ | 仕様により異なります |
| ③ | 後煽り | SS・SUS・木材・アルミ | 仕様により異なります |
| ④ | 柱 | SS・SUS | 仕様により異なります |
| ⑤ | 丁番 | SS・SUS | 仕様により異なります |
| ⑥ | 掛け金 | SS・SUS | 仕様により異なります |
| ⑦ | 床柱 | SS・SUS・アルミ | 仕様により異なります |
| ⑧ | 床上張り | SS・SUS・木材・アルミ | 仕様により異なります |
| ⑨ | 床板 | SS・木材 | 仕様により異なります |
| ⑩ | 横根太 | SS・SUS・木材・アルミ | 仕様により異なります |
| ⑪ | 縦根太 | SS・SUS・アルミ | 仕様により異なります |
| ⑫ | 下張り | SS・SUS・アルミ | 仕様により異なります |
| ⑬ | スペーサー | ハイプラ | 仕様により異なります |
| ⑭ | Uボルト | SS・SUS・アルミ | 仕様により異なります |
| ⑮ | サイドバンパー | SS・SUS・アルミ | 仕様により異なります |
| ⑯ | リヤフェンダー | SS・SUS・アルミ | 仕様により異なります |
| ⑰ | 工具箱 | SS・SUS・アルミ・FRP | 仕様により異なります |
| ⑱ | 泥除けゴム | EVA | 仕様により異なります |
| ⑲ | 灯火器 | | 仕様により異なります |

作業手順

1 艀装品の取り外し

- ① サイドバンパー、リアフェンダー、泥除けゴム、工具箱等のボルト・ナットを外し、荷台より取り外します。
- ② 灯火器類のボルト・ナットを外し、荷台より分離します。この際荷台に固定されているハーネスも取り外します。
- ③ ハーネスは丸棒に結束バンドで固定されていますので、ニッパー等で結束バンドを切ると荷台から分離できます。木製根太の場合は絶縁ステップルで固定されていますので、プライヤー等で引き抜いてください。



2 荷台のシャシからの分離

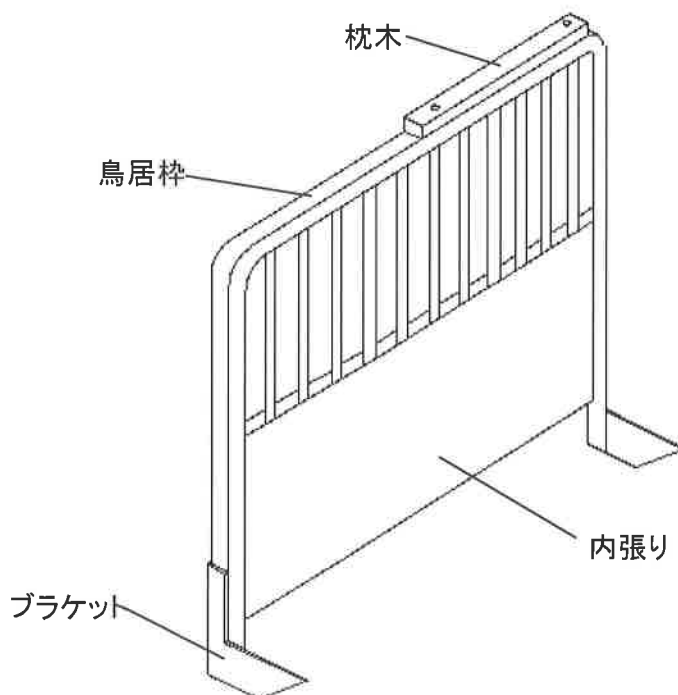
- ① 荷台はシャシフレームに縦根太を介しUボルト(片側3~6箇所)で固定されており、この締め付けナット(M10~M16)を外します。
- ② シャシフレームと縦根太をUボルトの他に専用ブラケットまたはフラットバーで固定している場合があり、これも取り付けボルトを外します。
- ③ クレーン等を使用して荷台を吊り上げ、シャシフレームから降ろします。

3 荷台の解体

- ① 荷台を鳥居、側煽り、後煽り、床に大別します。
- ② 鳥居はボルト、リベット、又は溶接にて取り付けられていますのでボルト類を取り外します。リベット、又は溶接にて取り付けられている場合、適所で切断します。この時鳥居が倒れないように、クレーン等で吊っておいて下さい。
- ③ 側煽り、後煽りは床枠に丁番ピン、ワッシャ、割ピン、Eリング等で連結されていますので、取り外して床枠と分離します。
- ③ 丁番のピンが抜けないタイプの場合は床枠と接合されているボルトを外して分離します。

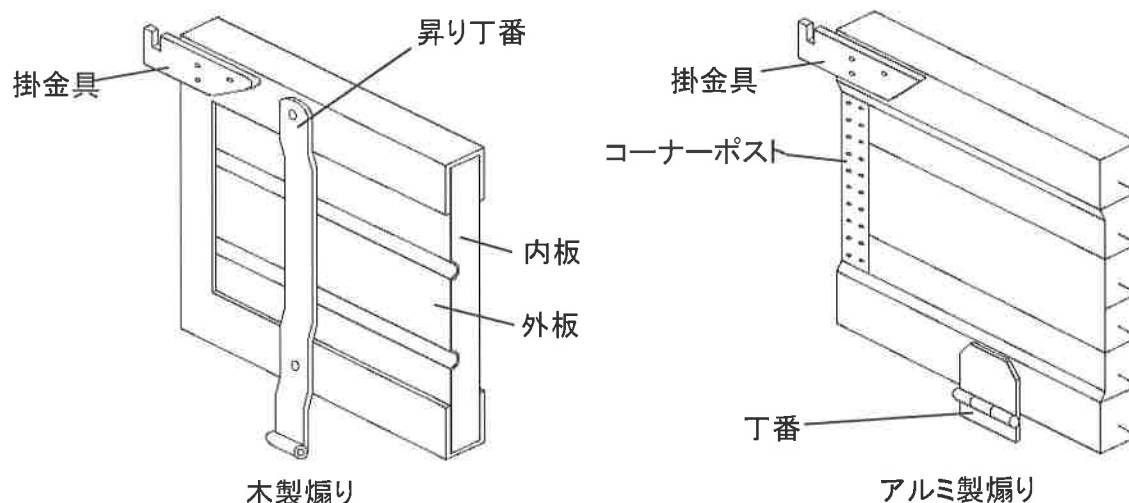
4 鳥居の分解

- ① 鳥居の荷台側は全面又は半分ほど鉄板材、木材、ステンレス、アルミ等で覆われていますが、ボルト・ナット又はリベットで固定されている場合、ボルト・ナットは緩め、リベットはφ5～6mmのドリルにてリベットの芯部に穴をあけることで容易に外れますので、板材を鳥居から剥離します。
- ② 鳥居枠材に溶接されている鉄板材は切断し鳥居枠材と分離するか、鳥居枠材と一緒に適当な大きさに切断します。
- ③ 鳥居には取付部品として、枕木、鳥居デッキ等があります。概ねボルト止め(M8～M10)の構造になっておりますが、木材、アルミ、ステンレス等の異質の材料も含まれているため確実に分離してください。



5 煽りの分解

煽りは、木製煽りの場合とアルミ製煽りの場合があります。
また、煽りが分割して取り付けられている場合、煽りと煽りの間に柱が備わっていることがあります。柱は床から引き抜いてください。



(1) 木製煽りの分解

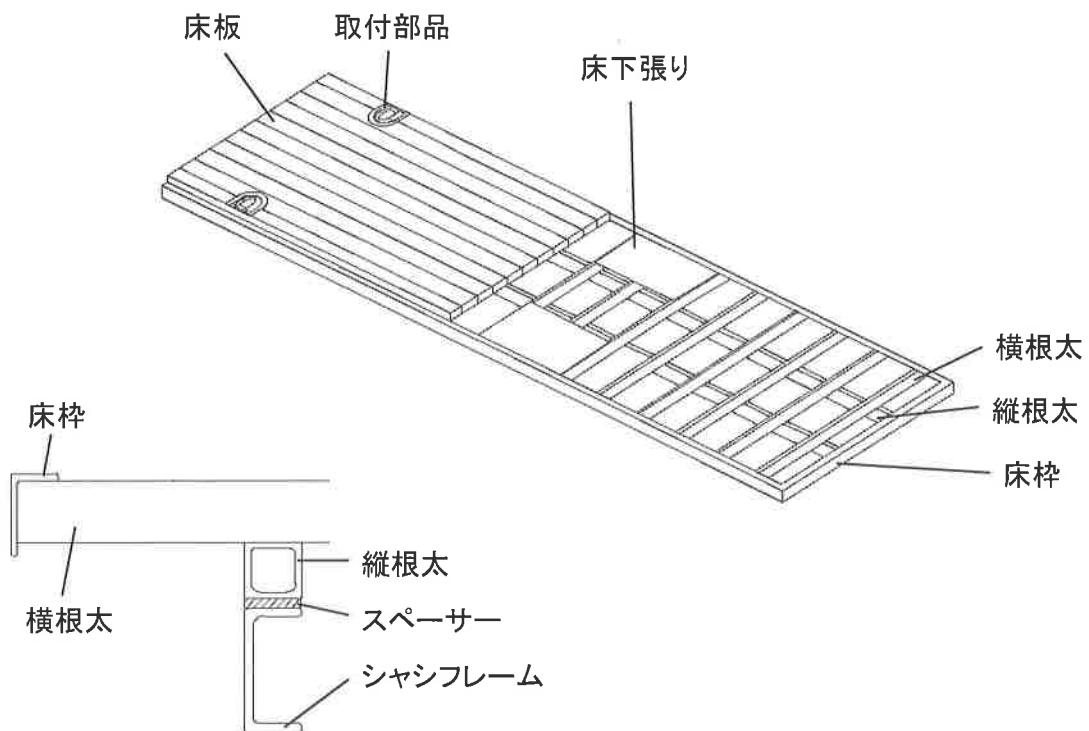
- ① 外枠、丁番、外板が金属、内板が木材になります。丁番縦部のボルト・ナットを外し外板、内板を分離します。
- ② 金属製の枠は適当な大きさに切断します。溶断機を使用し切断する場合、必ず内板（木材）を取り外した後切断して下さい。

(2) アルミ製煽りの分解

- ① リベット及びボルト・ナットで組立されています。リベットは $\phi 5\sim 6\text{mm}$ のドリルにてリベットの芯部に穴をあけることで容易に外れます。
- ② 前後の掛け金はボルト・ナットを内外両面、又は外面から外し分離します。また、煽りの中間部に部品が付いている場合は取り外します。
- ③ コーナーポスト(縦材)のリベットを外し分離します。
- ④ 煽りの内側に隠れている通しボルト・ナットと煽り丁番のボルト・ナットを外し、数本のレールに分解します。
- ⑤ 前後端に木材、樹脂等の部品が挿入されている場合には取り外します。
- ⑥ 上下数本に分離した煽りの合わせ目に、ゴム類が挿入されている場合は引き抜きます。またコーナーポストに水切りゴムが付いている場合は引き剥がします。
- ⑥ 嵌合組立の場合分解できないので、丸ノコ等で切断します。

6 床の分解

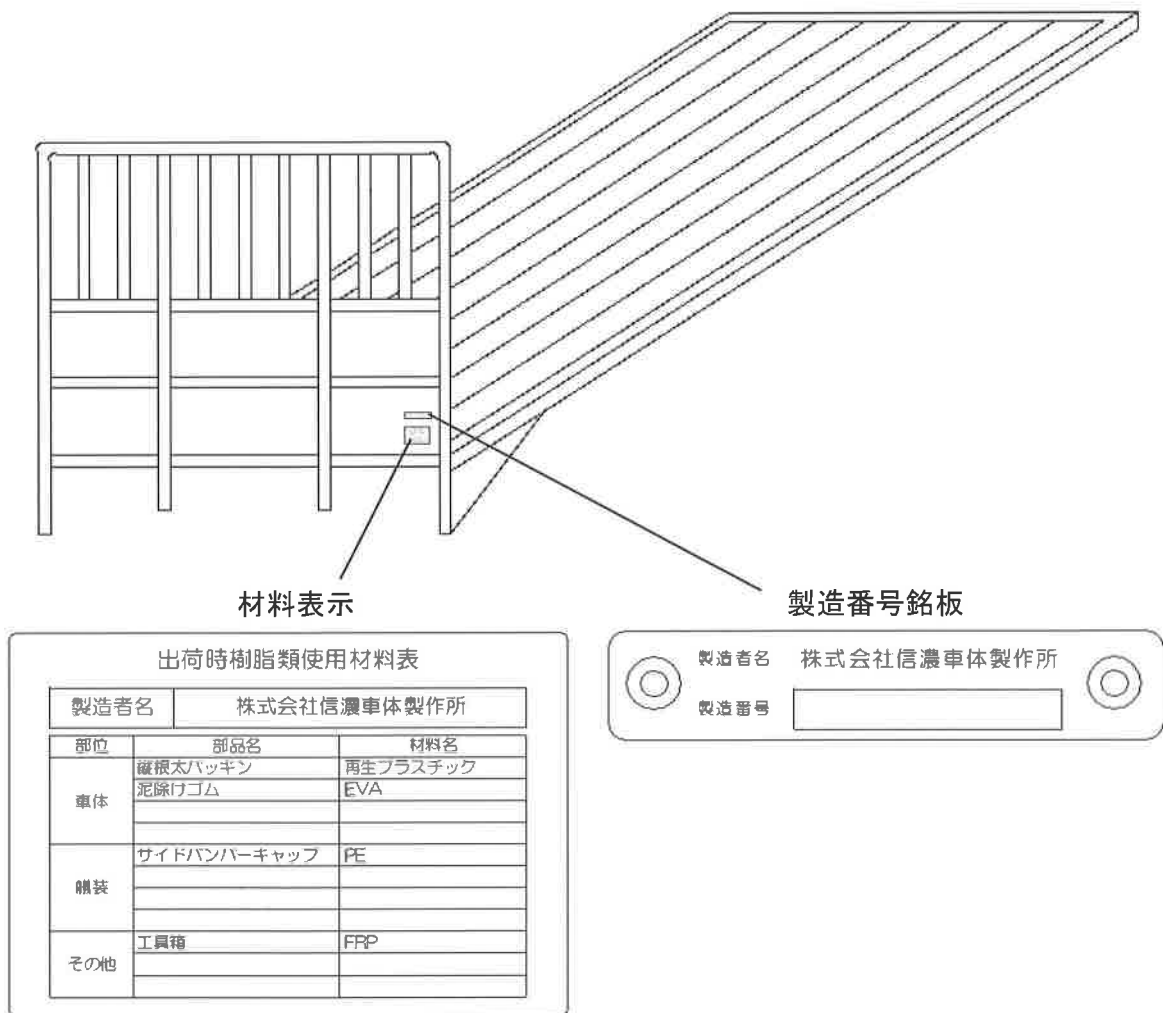
- ① 床本体に取付部品及びフチ保護材がある場合は最初に取り外してください。
- ② 床板上が金属張りの場合、床板へのビス止め部、または溶接部を切断します。また床上材は床板と接着剤等で固定してありますので、バール等で剥がしてください。
- ③ 床板は横根太にビス又は釘で固定されています。ビスが全て弛めばビスを外し床板を取り外します。ビスが弛まない場合は丸ノコ等を使用し各根太間で床板を切断し、バール、ハンマー等で剥がしてください。床枠下に床板が入り込んでいる場合、床枠の分解時に取り除いてください。
- ④ 床板下に金属、又は樹脂等の下張りがある場合、同時に取り外し、適当な大きさに切断してください。
- ⑤ 床枠と煽り丁番がボルト止めの場合は、ボルト・ナットを取り外し、煽り丁番を分離してください。
- ⑥ 床枠、横根太、縦根太がボルトで締結されている場合は、ボルト・ナットを取り外して分離し、適当な大きさに切断してください。
- ⑦ 床枠、横根太、縦根太が溶接で接合されている場合は、グラインダー、溶断機等で適当な大きさに切断してください。
- ⑧ 縦根太下面にスペーサがビス類で取り付けられている場合、ビスを緩めて分離し適当な大きさに切断してください。



7 分別処理の注意

ハーネス、鉄、アルミ、ステンレス、樹脂(FRP他)、ゴム類、木材等を材質別に分離し、適正な処理をお願いいたします。

製造者名、製造番号、出荷時樹脂類使用材料表は鳥居左前に貼り付けてあります。



解体マニュアルについてのお問い合わせは下記までお願いいたします。

株式会社 信濃車体製作所 生産管理室 025-260-3166(代表)